

領域運営委員報告

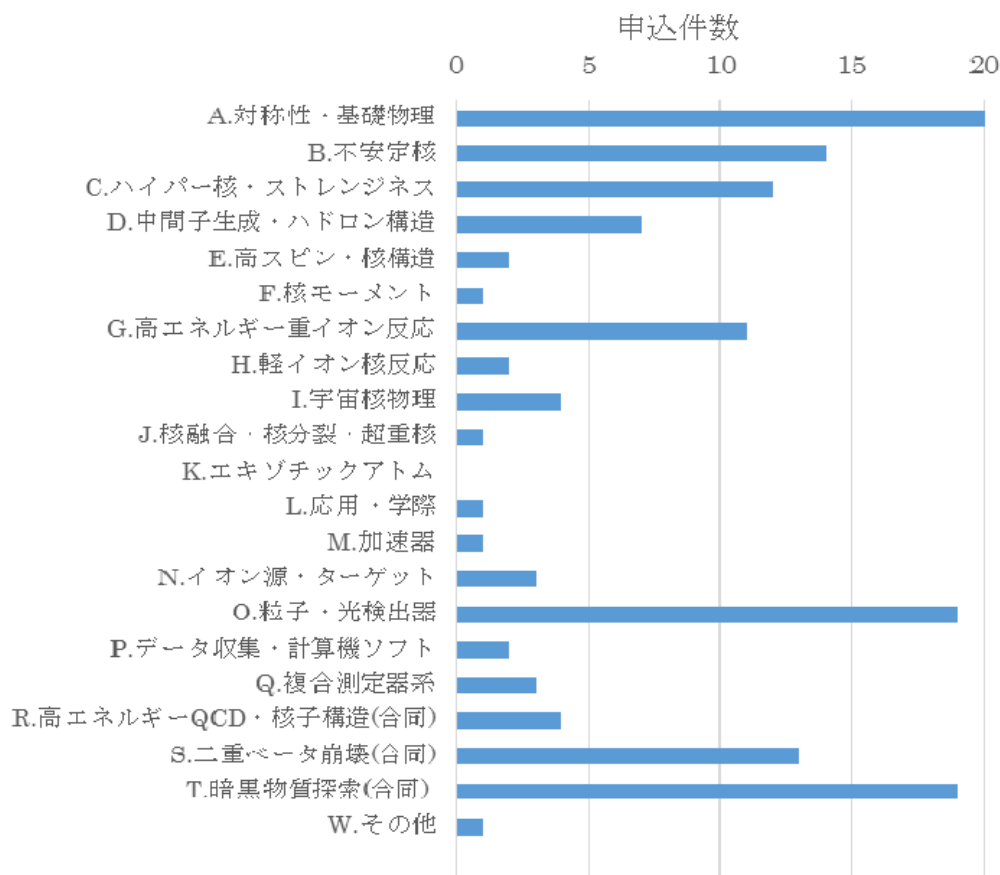
2016年秋季大会（宮崎大学）プログラム概要

実験核物理領域運営委員：吉見彰洋（岡山大）、高橋仁（高エネ機構）

● 実験核物理領域一般申込

一般講演申込数は140件でした。キーワード毎の累計件数は下図の通りです。皆様の積極的な申込みに感謝いたします。次回以降も以下の点にご注意ください。

- ✓ キーワードは**必ず**指定してください。原則的に第一キーワードでセッションが決まります。
- ✓ 講演タイトルは正確に記入してください（ギリシャ文字、上付き/下付きなど）。記入された通りにプログラムなどで表示されます。
- ✓ 連続講演を希望される場合は、ウェブ講演申込で指定するか、連続講演申込書を提出して下さい。タイトルに連番が付随している場合でも必要です。
- ✓ 合同セッションを希望される場合は、**合同先**の領域名を指定してください。



- シンポジウム（下線は主領域）
 - ✓ 「J-PARC 重イオン衝突実験が拓く高密度・稀現象の物理」実験核、理論核、ビーム物理
 - ✓ 「原子核物理学・加速器物理学と放射性廃棄物」実験核、理論核、ビーム物理
 - ✓ 「反応断面積による核半径研究の進展」理論核、実験核
 - ✓ 「原子核の応答から探る多体相関」理論核、実験核

- 企画講演

- ✓ 中野健一（東工大理）「SeaQuest 実験によるドレルーヤン反応を用いた核子内フレーバー非対称度の測定結果」
- ✓ 第22回原子核談話会新人賞受賞講演（実験核物理）
 - ◆ 野呂哲夫（九大理）「原子核談話会新人賞の選考結果について」
 - ◆ 市川裕大（原研）「 π 中間子ビームを用いたストレンジダイバリオンの研究」
 - ◆ 後神利志（阪大RCNP）「電子ビームを用いたラムダハイパー核の精密分光」

- 招待講演；

- ✓ 本林透（理研仁科セ）「短寿命核直接反応で探る魔法数の消長」
- ✓ 櫻井博儀（東大理）「魔法数研究 RIPSからRIBFへの展開と今後」

- 合同セッション

- ✓ 不安定核 : 実験核・理論核
- ✓ ハイパー核・ストレンジネス : 実験核・理論核
- ✓ 高エネルギー重イオン反応 : 実験核・理論核
- ✓ ガス検出器 : 実験核・素粒子実験
- ✓ 測定器(合同) : 実験核・素粒子実験
- ✓ 高エネルギーQCD・核子構造 : 実験核・素粒子実験
- ✓ 暗黒物質探索 : 実験核・理論核・素粒子実験・素粒子論・宇宙物理
- ✓ 二重ベータ崩壊 : 実験核・理論核・素粒子実験・素粒子論・宇宙物理

- 物理学会参加登録方法の変更

第72回年次大会(2017年)から一般講演の申し込みは各会員の「マイページ」からのみとなります。従来可能だった「入会申し込み中」の状態での講演申し込みはできなくなり、紹介者2名の手続き及び入会申込金の決済完了後にのみ申込可能となりますので、十分ご注意ください。なお、紹介者2名の手続きも、紹介者の「マイページ」からのお手続きとなります。まだ本会会員ではなく、第72回年次大会(2017年)で登壇予定の方をご存じの会員の方は、できるだけ早く入会手続きをするようお勧めください。次回申込案内のメールにある注意事項もお読みください。

- シンポジウム等各種企画講演の申し込み方法の変更

シンポジウム・企画講演等の申し込みは、これまで運営委員を通じて申し込んでおりましたが、第72回年次大会(2017年)から提案者本人にセッション提案 web ページにて入力してもらうことにします。入力してもらった後は運営委員が責任を持って面倒を見る、ということと致します。次回申込案内時のメールにある注意事項をお読みください。